

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美幼稚園	番号	92
--------	----------	------------	----	----

**平成22年度**

# **施設評価調書**

**施設の名称……吉 佐 美 幼 稚 園**

**所管担当課……教育委員会学校教育課**

**平成22年7月**

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美幼稚園	番号	92
--------	----------	------------	----	----

## 施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立吉佐美幼稚園		2 担当課 担当係	学校教育課 こども育成係		
3 所在地	下田市吉佐美 853 番地		4 設置年月	昭和 30 年 月 日		
5 総合計画の 位置付け	Ⅱ. 人材づくり	未来の人づくり	幼児教育			
	施策体系	幼稚園・保育所の一元化 幼児教育の充実	組織の構築・新園の整備 教育活動の弾力化・幼稚園の整備			
	主要事業	幼稚園管理運営事業 幼稚園施設整備事業 幼保一元化事業	幼児教育相談・公開講座等の開催 幼稚園施設・設備の整備 推進委員会の設置・施設の増改築及び新 設・合同研修会の開催			
6 設置目的	幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成する。 家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を培う。					
7 設置根拠	下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例					
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 1,959 m <sup>2</sup> 建築年月 S55年2月 建築面積 434 m <sup>2</sup> 鉄骨平屋				
		園舎（教室・遊戯室・職員室） 運動場				
	実施事業 の概要	幼稚園は、幼児を保育し適当な環境を与えてその心身の発達を助長することを 目的とする。 そのために幼児期の特性を踏まえ環境を通して行うことを基本とする。				
	料金体系	料金区分	授業料 月額 6,100 円（8月分を除く）<H18 料金改定> 給食費 月額 4,100 円（給食費会計）<H21 料金改定>			
		主な 料金	同上			
		減免 内容	（授業料の減免） 第5条 市長は、園児が登園しないことが月の初めから末日までに及ぶ ときは、当月分の授業料を免除することができる。 2 市長は、幼児教育の振興を図るため、園児の保護者に対し、規則で 定める場合に該当するときは、授業料を減免することができる。			
		利用料金制度	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
施設運営 方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営					
	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →	指定管理者				
	<input type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容				
直接従事職員	下田市職員数	正職員	臨時職員	合計		
	平成 22 年 4 月 1 日現在	2 名	1 名	3 名		
9 市内の 類似施設	下田市所有	下田・白浜・稲梓幼稚園				
	民間所有					

平成22年度	施設名(愛称名)	下田市立吉佐美幼稚園	番号	92
--------	----------	------------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳 単位:円		平成21年度末残高 単位:円		(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・新築翌年から償却 ・耐用年数 34年(s55.2~h26.1)					
	土地取得費		土地残高							
	建物取得費 47,480,000円		建物減価償却後残高 8,378,820円							
	財源内訳		年間償却額算定式 47,480,000円÷34年=1,396,470円							
	国・県支出金		市債残高 0円							
	市債									
	一般財源									
寄附金等										
物品(*万円以上)		物品減価償却後残高								
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H19年度決算	H20年度決算	H21年度決算	H22年度予算				
	収入	幼稚園使用料	1,915,400	1,799,500	1,653,100	2,147,200				
	収入合計		1,915,400	1,799,500	1,653,100	2,147,200				
	支出	1節	報酬	120,341	127,800	128,400	129,600			
		2節	給料	7,600,320	7,604,200	7,582,453	7,644,181			
		3節	職員手当等	3,249,764	3,292,554	3,114,854	3,146,905			
		4節	共済費	1,686,439	1,733,992	1,872,190	2,054,543			
		7節	賃金	1,685,441	1,646,092	1,921,395	1,636,600			
		9節	旅費	49,814	67,353	11,204	52,750			
		11節	需用費	756,972	489,160	498,594	842,500			
		12節	役務費	141,157	110,808	117,028	143,000			
		13節	委託料	351,153	452,881	373,439	384,480			
		14節	使用料及び賃借料	432,202	134,731	131,460	121,000			
	18節	備品購入費	17,737	0	0	17,000				
	19節	負担金補助及び交付金	33,578	58,174	43,884	46,750				
	支出合計		16,124,918	15,717,745	15,794,901	16,219,309				
	減価償却費		1,396,470円	1,396,470円	1,396,470円	1,396,470円				
	市債利子									
	下田市負担年間総経費		15,605,988	15,314,715	15,538,271	15,468,579				
	備考	○減価償却費は、初期投資のうち国庫・県負担分を控除した額を基礎としている。								
12 施設利用状況等の推移	利用状況	年度	H19.5.1		H20.5.1		H21.5.1		H22.5.1	
			クラス数	幼児数	クラス数	幼児数	クラス数	幼児数	クラス数	幼児数
		合計	2	29人	2	27人	2	26人	2	30人
		3歳児	-	4人	-	12人	1	11人	1	10人
		4歳児	1	11人	1	4人	-	11人	-	9人
		5歳児	1	14人	1	11人	1	4人	1	11人
	参考:利用単位当たり市負担額	538,138円/人		567,212円/人		597,626円/人		515,619円/人		
算出方法:	11欄の「下田市年間総経費」÷利用者数									
休園日	祝祭日・土日、夏季・冬季・春季									
教育時間	4時間									
備考	クラス数について「-」は複合クラスである									
13 利用者満足度調査	実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		調査結果 保護者に結果を公開している ・運動会后(良かった点、改善点、その他について。)1回 ・保育参加後(子どもの成長した点、気づいた点、園に対する要望について。)1回 ・園生活アンケート2回 計4回実施						
	直近の実施時期	随時								
	調査手法	アンケート								
	調査数	保護者数(30)								

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美幼稚園	番号	92
--------	----------	------------	----	----

## 業績評価

### 1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	利用者数の目標値	人	120	60	60	60
	〃の実績	人	29	28	26	
	目標達成度	%	24.1	46.7	43.3	
選択した指標	<input type="checkbox"/> 成果指標 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由 平成19年度までは定員に対する入園児数にて指標を選択していたが、平成20年度からは保育所を除く在宅率の平均（50%）を基準とし、地域別に対象年齢児の半数を指標とした。					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標					
	代替指標					

（参考）

活動指標（施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標）

活動指標			区分	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
活動指標①	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							
活動指標②	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							
活動指標③	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美幼稚園	番号	92
--------	----------	------------	----	----

## 2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	施設の総利用者数等①		人	29人	27人	26人	30人
	年間経費②	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	16,124,918	15,717,745	15,794,901	16,219,309
	利用単位当たり経費	②÷①	円/人	556,032	582,139	607,496	540,644
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等に用いた指標について記載してください。	当園の入園児数	備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。		年間経費は幼稚園総経費を各幼稚園の園児数で按分			

その他の指標		区分	単位	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
目標指数①	目標指数	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指数の考え方						
目標指数②	目標指数	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指数の考え方						
目標指数③	目標指数	目標値					
		実績値					
		達成度					
	目標指数の考え方						

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	①有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円	16,124,918	15,717,745	15,794,901
	②受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円	1,915,400	1,799,500	1,653,100
	③受益者負担比率	②÷①	%	11.9	11.4	10.5
	④補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円	1,945,900	1,817,800	1,701,900
⑤補正受益者負担比率	④÷①	%	12.1	11.6	10.8	

### 【参考】

運営に掛かる税負担（市民負担）	年度		H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
	人口（4月1日：人）		26,197	25,802	25,549	25,224
	人口1人あたり（円/人）	運営経費（収入除く）	542	539	554	558
		年間総経費	596	594	608	613

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美幼稚園	番号	92
--------	----------	------------	----	----

## 施設の現状分析

判 断 視 点 項 目		施設の状況	
施設方向性の判断視点	① 施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	利用されている
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	下田市内に住む保護者の希望する就学前の3～5才児に幼児教育を実施している。
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	吉佐美地区に当園以外就学前の児童が通える施設がない。
	② 施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画は怎么样了なっているのか	第8次教育環境整備5ケ年計画により、計画されているが、未実施である。また、施設の再編の必要性が打ち出されているが、方向性が決まらないため、整備計画が進んでいない。
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	PTAを組織し、定期的に会合を開いている。
	③ 施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	競合していない。
		民間においても十分可能な施設なのか	施設の設置目的、民間事業者の未参入という下田市の現状を考えると困難であるが、適正な運営能力を持つ民間事業者による運営は可能である。
	④ 使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較は怎么样了なっているのか	実経費の変化に対応するため、3年ごとに授業料の見直しを図っている
		同種施設との比較、近隣施設との比較して怎么样了なっているのか	国基準に沿った金額となっている。
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いが怎么样了なっているのか	少子化が急速に進んでおり、園児数が減少している。
		施設の耐用年数は何年有るのか	鉄骨34年（s55.2～h26.1）
		施設の今後の維持経費の算定は怎么样了なっているのか	現状で大きな問題はないが、経年劣化による修繕費の増加が予想されるため、修繕計画の作成が必要となる。
行政規模からの判断視点	① 施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	最小限の経費で維持管理を行うため、効率化に努めている。
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	市内に運営を行う民間事業者がないため、当面直営方式で行うことになる。
	② 地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しは怎么样了なっているのか	旧町村単位の配置であったが、浜崎、稲生沢の統合による廃止が実施された。今後も市全域の園児の動向等を勘案し、適正な施設配置を検討する。
		③ 施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか
	老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか		耐震化や老朽化、入園児の推移等を考慮すると将来的には改築の方向を前提に、検討を進める方向としたい。
	地域、民間に譲渡できないのか		現状の施設状況のままでは、民間への譲渡は難しいと思われる。
		施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	幼稚園という目的に沿った施設の見直しは適当だと思われる。
その他			

平成22年度	施設名（愛称名）	下田市立吉佐美幼稚園	番号	92
--------	----------	------------	----	----

## 見直しの方策

	評価種別	改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	運営母体となる民間事業者がない本市の状況下では、行政が主体となって運営にあたらなければならない。
	受益者負担の妥当性	授業料 平成18年度より5,000円より6,100円に改定した。 3年毎に見直しを実施。 平成20年度見直しを検討し平成21年度実施時期であったが、国の推移等を見極めつつ、改定は実施しなかった。
	実施主体の妥当性	運営母体となる民間事業者がない本市の状況下では、行政が主体となって運営にあたらなければならない。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	施設の老朽化や園児数の減少が続いているため、平成21・22年度において再編に向けた方向性を提示したい。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	地域の子どもは地域でという考えの中で、少人数でゆったりとした教育環境が確保されているが、費用対効果や効率性から考えると厳しい経営状況と言える。
	執行方法の見直しなど効率化のための目標及び方策	園において学期ごとに反省会を行い、その結果をもとに担当課と運営方針の点検を行っている。また、必要に応じて教育委員会にも協議を求めている。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	現在の授業料は他市町村の状況を調査し市民生活を考慮した上で国の推移によって決められているが、今後も運営経費や負担率等を把握しつつ、3年毎に見直しを行うことにより授業料の適正化を図る。
査等 アンケート調査	市民アンケート調査等の結果	行事その他要望等のアンケートを実施し、結果を保護者に公開している。個人面談や家庭訪問を行い、直接保護者から要望も聞いている。
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	在園児を対象に緊急時あずかり保育(14～16時) 夏季保育、幼稚園開放(年7回)を実施している。
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	個人面談や家庭訪問等で保護者の意見を聞くと共に園児の成長、変容を親へ伝え幼稚園教育の理解をしてもらっている。保護者の要望に沿った中で検討会を行い今後の方向性を決めている。

## 平成21年度事業内容及び見直し事項

事業内容	
見直し事項	

平成22年度

施設名（愛称名） 下田市立吉佐美幼稚園

番号 92

**施設懸案事項**

No.	懸案事項	改善経費	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

**今後の方向性**

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 充実	(具体的な内容) 市内の保育所・幼稚園の再編について、平成 21、22 年度において方向性を提示したい。
	<input type="checkbox"/> 効率化等による見直し	
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続等	
	<input type="checkbox"/> 縮小等による見直し	
	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合を進める	